

令和8(2026)年度 とちぎネットアンケート結果

第1回 「とちぎの元気な森づくり県民税について」

1 調査目的

栃木県では、県民共有の財産である森林を守り育て、将来に引き継いでいくため、平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」を導入し、県民の皆様様に700円/年(課税期間:平成20年度から令和9年度まで)のご負担をいただきながら、森林整備などに取り組んでいます。

今般、令和10年度以降のとちぎの元気な森づくり県民税のあり方を検討するに当たり、調査を実施することとしました。

※とちぎの元気な森づくり県民税の詳細については、以下のHPをご覧ください。

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/shinrin/zenpan/genkinamoridukuri.html>

(担当課:環境森林部 環境森林政策課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

706名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和8(2026)年4月14日～4月27日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 456名 (回答率64.6%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	197	43.2 %
女性	252	55.3 %
未回答	7	1.5 %
計	456	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	10	2.2 %
30代	33	7.2 %
40代	119	26.1 %
50代	121	26.5 %
60代	106	23.2 %
70代以上	67	14.7 %
計	456	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	231	50.7 %
県南	129	28.3 %
県北	96	21.1 %
計	456	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

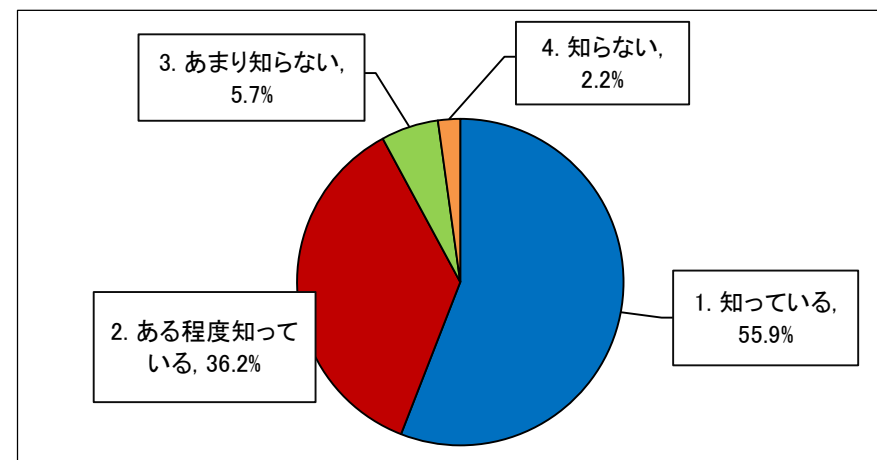
4 調査結果

問1 あなたは、森林が豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となるCO2を吸収するなどの公益的機能を果たしていることを知っていますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っている	55.9%	255
2 ある程度知っている	36.2%	165
3 あまり知らない	5.7%	26
4 知らない	2.2%	10

(n = 456)

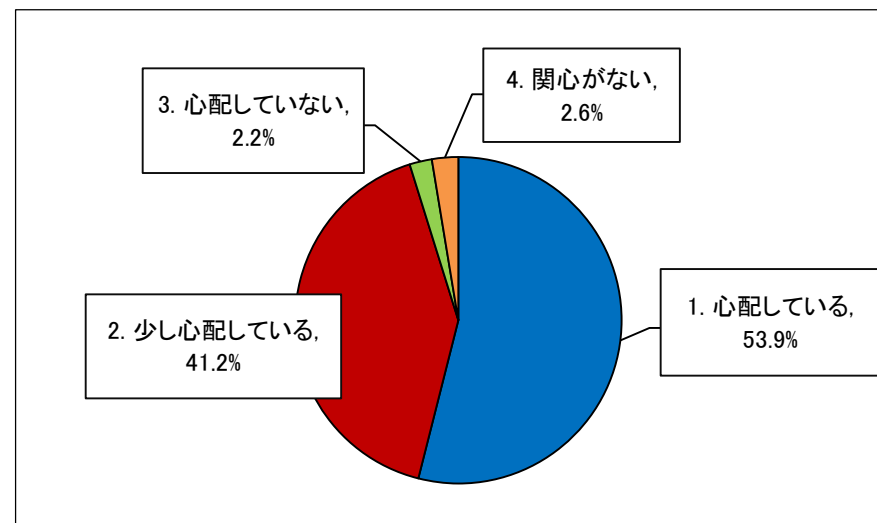


問2 あなたは、県内の一部の森林で、過疎化の進行に伴う所有者不明森林の増加や木材価格の下落による林業経営の低迷などから、整備が行き届かず森林の高齢化が進み、公益的機能が発揮されにくくなっていることについて、どう考えますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 心配している	53.9%	246
2 少し心配している	41.2%	188
3 心配していない	2.2%	10
4 関心がない	2.6%	12

(n = 456)

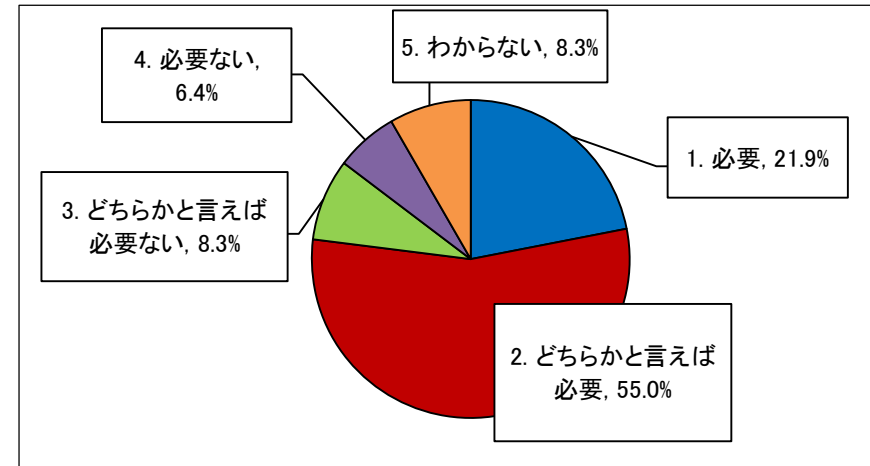


問3 あなたは、私たちの暮らしや産業等を支える森林を県民みんなで守り育てていくため、税金を負担することについて、どう考えますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 必要	21.9%	100
2 どちらかと言えば必要	55.0%	251
3 どちらかと言えば必要ない	8.3%	38
4 必要ない	6.4%	29
5 わからない	8.3%	38

(n = 456)

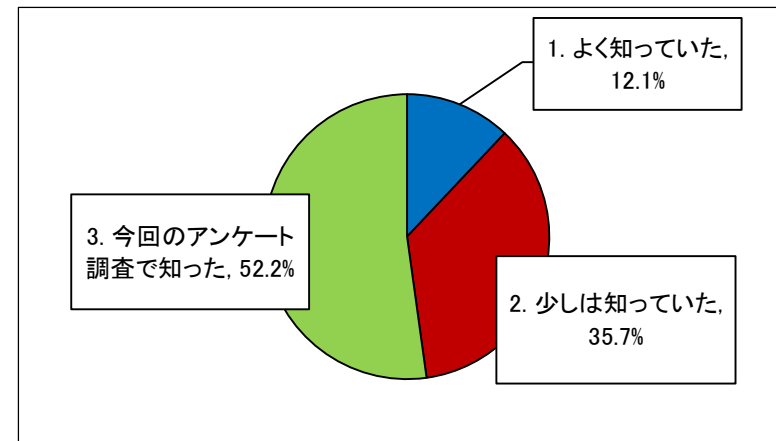


問4 あなたは、この調査以前に「とちぎの元気な森づくり県民税」を知っていましたか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 よく知っていた	12.1%	55
2 少しは知っていた	35.7%	163
3 今回のアンケート調査で知った	52.2%	238

(n = 456)



問5 あなたは、栃木県において「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用し、森林の若返りや里山林の整備・管理、森林の地籍調査などに取り組んできたことをどのように評価しますか。

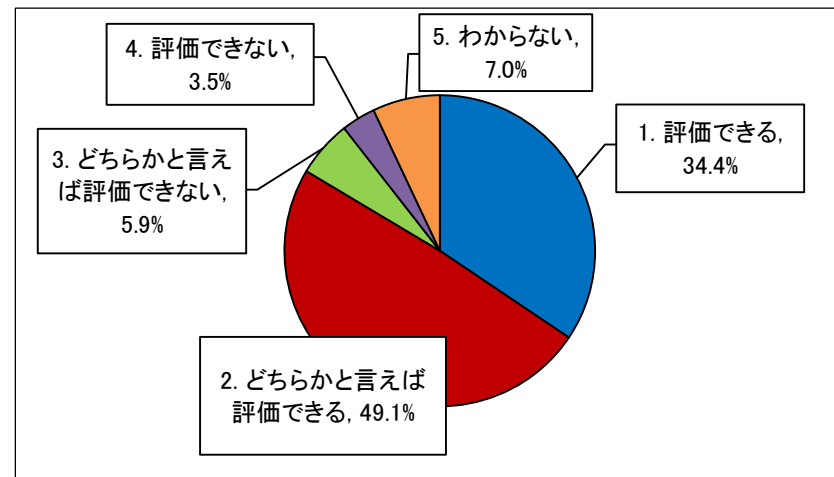
(1つ回答)

※主な取組の内容(平成30～令和6年度の7年間の実績)

- ・高齢化し公益的機能が低下した森林の若返り(植栽・下刈・獣害対策)を実施 【約2,800ha(東京ドーム約600個分)の苗木の植栽】
- ・地域に身近な里山林の保全を実施 【約800ha(東京ドーム約170個分)の里山林の保全】
- ・所有者や境界が不明な森林への対策 【約4,200ha(東京ドーム約900個分)の地籍調査】
- ・県民の森づくりへの関心・理解を深める体験講座等を開催 【約700人が参加】

	構成比	回答数
1 評価できる	34.4%	157
2 どちらかと言えば評価できる	49.1%	224
3 どちらかと言えば評価できない	5.9%	27
4 評価できない	3.5%	16
5 わからない	7.0%	32

(n = 456)

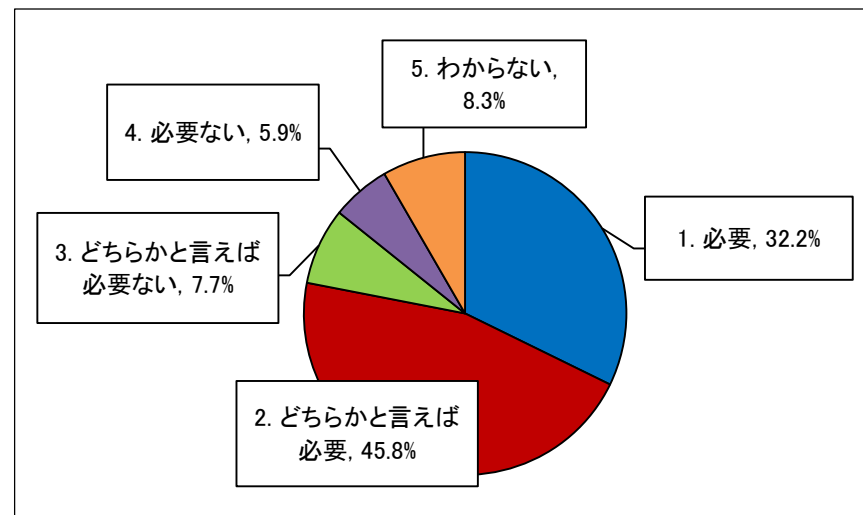


問6 あなたは、問5の評価を踏まえ、森林を守り育て、将来に引き継いでいくため、「とちぎの元気な森づくり県民税」の継続は必要だと思いますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 必要	32.2%	147
2 どちらかと言えば必要	45.8%	209
3 どちらかと言えば必要ない	7.7%	35
4 必要ない	5.9%	27
5 わからない	8.3%	38

(n = 456)



問7 あなたは、今後「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して森林を守るための取組として、大切だと思う取組は何ですか。

(3つまで回答)

	構成比	回答数
1 高齢化し公益的機能が低下した森林の若返り	50.2%	229
2 新たに植栽した苗木を野生獣による食害から守る対策	31.8%	145
3 花粉の少ない森づくり	42.8%	195
4 境界・所有者不明森林の明確化	24.8%	113
5 森づくり活動の担い手・組織の確保・育成	50.4%	230
6 地域に身近な里山林の持続的な保全	25.0%	114
7 栃木県産木材の利用促進	23.0%	105
8 森林の働きや大切さなどの普及啓発	14.5%	66
9 わからない	2.4%	11
10 その他(自由記述)	3.1%	14

(n = 456)

【その他の主な意見】

- ・手つかずの森林を県や国が適切に管理してほしい

